

平成28年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成28年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センター	所管課	経済企画課
所在地	〒020-0891 盛岡市紫波郡矢巾町流通センター南一丁目2-7		
電話番号	(019) 638-1302	設立年月日	平成55年9月2日
代表者	理事長 谷藤裕明	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他
設立目的	この法人は、勤労者の福祉を図り、労働力の確保と雇用の安定に資することを目的とする。		
主要事業	① 上記目的ののっとり設立された盛岡地区勤労者共同福祉センター施設の管理運営を行う。 ・ 福祉会館施設 ・ 催事場(大ホール)施設 ・ 体育館施設		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
<input type="checkbox"/> ある (アドレス http://)
<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法
施設のパンフレット、同じ団地内にある協同組合のホームページでの当施設の紹介

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計
			うち市OB	うち市派遣		
役員	理事	0	0	0	6	6
	監事	0	0	0	2	2
	計	0	0	0	8	8
職員	管理職	正職員	1	0	0	1
		臨時職員	0	—		
	一般職	正職員	1	0	1	2
		臨時職員	0	—		
	計	正職員	2	0	0	1
臨時職員	0	—	—			
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	61	歳
常勤職員の給与体系						
<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(派遣元の給与体系による)						

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	1,000 千円	本市出資等額	800 千円	本市出資等割合	80.0 %
主な出資等者					/
① 盛岡市			(出資等割合	80 %)	
② 矢巾町			(出資等割合	20 %)	
③			(出資等割合	%)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成28年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円		(収入全体の	%)
	負担金・交付金	0 千円		(収入全体の	%)
	委託料	0 千円		(収入全体の	%)
	指定管理料	0 千円		(収入全体の	%)
	貸付金	0 千円		(収入全体の	%)
補助金内訳					
①			(平成28年度予算額	千円)	
②			(平成28年度予算額	千円)	
③			(平成28年度予算額	千円)	
負担金・交付金内訳					
①			(平成28年度予算額	千円)	
②			(平成28年度予算額	千円)	
委託料内訳					
①			(平成28年度予算額	千円)	
②			(平成28年度予算額	千円)	
指定管理料内訳					
①			(平成28年度予算額	千円)	
②			(平成28年度予算額	千円)	
③			(平成28年度予算額	千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)	
		利用料金収入(平成28年度予算額		千円	
		法人の収入全体の		%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在, 公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	矢巾勤労者共同福祉センター(福社会館)
-------	---------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成25年度	平成26年度	平成27年度
①		計画			
		実績			
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。
- 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
- 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
収支の状況	総収入	30,502	31,884	45,883
	当期収入(A)	24,967	27,719	41,365
	基本財産運用収入	0	0	0
	会費収入(入会金収入を含む)	0	0	0
	補助金等収入	4,209	4,169	4,169
	うち市からの補助金等(B)	0	0	0
	事業収入(C)	20,498	23,259	36,902
	うち自主事業収入	20,498	23,259	36,902
	うち市からの委託料(D)	0	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	260	291	294
	前期繰越額	5,535	4,165	4,518
	総支出	26,337	27,366	38,903
	当期支出	26,337	27,366	38,903
人件費	10,080	10,368	10,368	
事業費(人件費除く)	12,492	13,332	22,655	
管理費(人件費除く)	1,765	1,666	1,880	
資産取得支出	0	0	0	
繰入金支出	0	0	0	
その他の支出	2,000	2,000	4,000	
区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
収支の状況	当期収支差額	▲ 1,370	353	2,462
	次期繰越収支差額	4,165	4,518	6,980

正味財産の 状況	経常収益(F)	24,967	27,719	41,364
	経常費用	26,337	27,366	38,903
	当期経常増減額	▲ 1,370	353	2,461
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
財産の状況	資産(G)	95,248	93,698	86,466
	うち固定資産	90,563	88,662	78,991
	うち流動資産(H)	4,685	5,036	7,475
	負債	520	518	495
	うち固定負債	0	0	
	うち流動負債(I)	520	518	495
	正味財産(J)	94,728	93,180	85,970
うち当期正味財産増減額	▲ 3,511	▲ 1,548	▲ 7,210	
財務指標	流動比率(H/I)	901	972	1,510.1
	自己資本比率(J/G)	99	99	99.4
	職員一人当たり収益高(F/(K+L))	8,322	9,240	13,788
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	0	0	0
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	0	0	0
組織の状況	常勤役員数(K)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	3	3	3
	うち常勤職員数	2	2	2
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0	0	0
	管理職員比率	33	33	33
職員新規採用数	0	0	0	
うち常勤職員数	0	0	0	
事業指標	① 催事場の利用料収入	14,050	15,178	18,222
	② 福社会館の利用料収入	4,726	6,004	6,733
	③ 体育館の利用料収入	1,722	2,077	1,947
	④			
区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	補助金額			
	①			
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
①				
②				

本市の財政 的関与等の 状況	委託金額				
	①				
	②				
	上記のうち再委託額				
	上記業務の委託契約方法				
	指定管理料				
	①				
	②				
	③				
	貸付金額				
	損失補償額				
	債務保証額				
	平成27年度決算の概要				
	<p>施設利用の状況は、福祉会館、大ホールとも、利用が増加し前年より約364万円多い26,901,734円となった。施設別に利用状況を見ると、矢巾町から管理委託を受けている共同福祉施設は事業所等の研修会、会議および勤労者のカルチャー教室などに利用されており、利用件数が47件増の673件、利用料収入は前年比12.1%増の6,732,720円であった。大ホールは、主に事業所の展示会に利用されているが、利用件数は9件増の117件、利用収入は前年比20.1%増の18,222,334円となった。体育館では、利用件数は32件減の622件、利用料収入は前年比6.3%減の1,946,680円になった。</p> <p>支出については、冬場暖かかったこと、油類の単価が下がったことなどにより、電気料や燃料費の支出が減少したものの、積立金を取り崩して充当した大ホール屋根の修繕費が約1,000万円かかり、全体としての支出は38,903,317円となり、次年度への繰越額は、前年度と比較して約246万円増となった。</p>				

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

A	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) 平成27年度決算においても黒字を確保し、累積欠損金もない。補助金以外の自主財源を持っており、財務状況は良好である。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成26年度決算において黒字である。	○	
2	平成27年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。		○
4	平成27年度決算において減価償却前黒字である。		
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」